校長室だより 192　　　　　　令和６年２月 27 日発行

凡 事 徹 底

内子中学校長　　西本　晃

令和6年度の新入生は 64 名です

来年度は、内子小（59 名）、立川小（３名）、石畳小（２名）の３校から 64 名（男子 34 名、女子 30 名）の新入生が入学します。

２月 22 日（木）に、入学説明会を行いました。６年生には、授業参観で、全学年の授業を公開しました。全体説明会では、学校生活の様子や生活のきまり等を説明した後、部活動見学を行いました。小学校時代とは違い、体も心も大きく成長した先輩の姿を見て、驚いた人も多かったのではないかと思います。

また、入学が待ち遠しくなった人も多いのではないかと思います。６年生の皆さん、保護者さん、４月からよろしくお願いします。

3年生の部活動への参加について

私立高校入試（推薦・一般)、県立高校推薦入試、愛媛大学附属高校一般入試を終え、５分の１近くの３年生の進路が決定しました。いよいよ来月７日、８日には、多くの生徒が県立高校一般入試に臨みます。中学校生活の最大のテーマである進路決定に向け、３年生全員が「全員合格」を目指して頑張ってほしいと思います。

なお、３年生で、高校でも中学校と同じ部活動を続ける強い意志のある生が１・２年生と一緒に部活動をすることを希望する場合は、生徒及び保護者の承諾書を提出し、部活動顧問等が可能であると判断した場合のみ、参加を認めます。希望する場合は、まずは学級担任まで御相談ください。活動期間は、県立高校入試後から３月 31 日までです。

なお、進学先が確定した後、高校から連絡があり、希望者を対象に練習が行われる場合等も、３月 31 日までは中学生であることから、無断で参加することがないよう、必ず事前に相談してください。高校での練習に参加し、けがをしても保険が適用されませんので、十分御注意ください。

超一流を目指そう

今年度は、５月にコロナが感染症法上で５類となり、昨年度以上に、コロナ禍前のような活動ができるようになっています。そんな中でも、感染防止に努めながら、本気になって一生懸命頑張る皆さんの姿を見て、先生たちも元気をもらっています。

そこで、今年度も、皆さんの更なる成長を支える一助となるよう、将棋界の羽生善治さんの言葉を紹介します。

> 三流は・・・・・人の話を聞かない。
> 二流は・・・・・人の話を聞く。
> 一流は・・・・・人の話を聞いて実行する。
> 超一流は・・・・人の話を聞いて工夫する。

今、皆さんは何流でしょうか。素直さと謙虚さを大切に、いろいろな人からたくさんのことを学び、それを自分なりに工夫して行い、超一流に近づけるよう、頑張ってください。

全校生徒の皆さん、ありがとうございました

２月 16 日（金）の朝の会の時間帯に、生徒会役員の宇都岡さんと高松さんが職員室を訪れ、「校長先生、緊急事態です。来てください。」とのこと。何だろうと体育館について行くと、何とそこには「西本校長先生還暦おめでとうございます」のメーセージとともに、全校生徒の姿がありました。

全校生徒を代表して、生徒会長の竹内君から心温まるメッセージをいただき、顔は笑顔でしたが、心の中はうれし涙で一杯でした。

最後に全員で撮った記念写真は、生涯忘れられない最高の思い出となりました。ありがとうございました。

なお、全校生徒へのお礼の挨拶の中でも伝えましたが、私自身の退職に当たり、お世話になった母校でもある内子中学校のために何かできることはないかと考え、今回、暑い夏を乗り越えるための冷水機を２台寄贈させていただくことにしました。保健室前と体育館入口に設置し、早速 22 日から、生徒の皆さんに利用してもらっています。

体育の授業や部活動、体育大会の練習後に利用し、少しでも暑さや疲れを和らげることができたら幸いです。